



「地域社会が子どもを育てる」

兼 子どもが育つ地域共育フォーラム、兼 学社連携・協働意見交換会

元長野県教育長の山口利幸さんから「地域社会が子どもを育てる～[縦]から[横]へ～」と題してお話いただきました。「この指とまれ」で集まった共通の関心や同じ目的で集まった仲間同士の緩やかなつながり“アソシエーション”が、地域で子どもの育てる上で大切になるとご指摘くださいました。

地域社会が子どもを育てるとはということなのか、具体的なケースをあげてお話いただいたことで、受講者の多くが「今から、ここから、自分から」の考え方をあてはめ、自分にできることは何か、考えるきっかけとなりました。 受講者：158名

<研修内容>

【講演】

演題 「地域社会が子どもを育てる～[縦]から[横]へ～」

講師 元長野県教育長 山口利幸氏



<受講者アンケートから>

- 県の教育長を務めたことのある人からの講演は、ひとつひとつの言葉に重みがあった。小学生の子どもを持つ親として、学校だけに頼らず、地域からも学ぶことによって、親子ともども成長していきたいと思いました。（市町村教委）
- 幼稚園教員をしています。子どもたちの育ち方は様々で、発達が未熟な分野でコミュニケーションが顕著になってきています。ほかの先生方からの感じ方・見方などの意見を聴き、みんなで育てていくことは大事なことだと感じています。市などの公的機関とつながり、相談がいつでもできる環境を充実させていきたいです。（幼稚園教諭）
- 子どもの育ちでいつも感じていることでした。本当の意味で知識のみでなく知恵を、人間力をつけていくことを、自然や人との関係（地域）から学んで行かれるように、ことあるごとに問いかけていきたいです。（社協）
- 教育計画を立てる場合、教育をめぐる現状や問題点の分析をしないケースがほとんどである。山口氏の今回のようなお話を共有することが大変重要であり、その上に立って課題解消に当たっていくことが大切だと思う。（社会教育委員）
- 周りの人に、今日の講演会の事を話します。先生のような方のお力を必要とする人は沢山います。お考えをもっと広げて欲しいと思います。ヒントを一つ頂きました。今日は本当に有難うございました。（PTA）